

人が喜ぶ仕事

元プロ野球選手で、南海・ヤクルト・阪神・楽天の監督を務めた野村克也さんは、自らを次のように評しました。

「王や長嶋が太陽を浴びて咲く『ひまわり』なら、こっちは日本海にひっそり咲く『月見草』や」

同時代に活躍した2人の陰に隠れることが多かったものの、優れた指導者として多くの人に影響を与えました。

野村さんには、人の心を打つ数々の名言がありますが、シンプルで奥の深い次の言葉を紹介します。

「アマは『自分が喜ぶ』。プロは『人が喜ぶ』」

アマチュアとプロとの違いを説いた数多くの言葉のなかでも、わかりやすく、心に響きます。

プロとして大事にすべきものは「人の喜び」だとするこの教えは、野球に限らず、働く人全てに当てはまります。

能力を世のため人のために役立てることは、プロとしての務めです。

自分にできることを通して、多くの人に喜んでもらいましょう。

今日の言葉

プロの務めは喜んでもらうこと

今日の気づき

コメント

野村克也 昭和10～令和2年(1935～2020年) 京都府生まれ。昭和後期から平成時代に活躍したプロ野球選手、監督。昭和29年(1954年)南海に入団。昭和40年(1965年)戦後初の三冠王を獲得。昭和45年(1970年)から昭和52年(1977年)には選手兼任監督として活躍。本塁打王9回、打点王7回、通算657本塁打など数々の記録を樹立。引退後はヤクルト・阪神・楽天などの監督を歴任。